クイックガイド

C-tune II

データ移行設定

はじめに

このクイックガイドは、C-tune IIにあるデータ移行設定ツールについて説明します。「セッションスタート」画面の左側のメニューから選択可能です。補聴器のペアのうち1つを置き換える際、リンク機能を失うことなく、保存済みのデータベースセッションから新しい補聴器へ補聴器の設定をコピーできます。

補聴器のペアのうち1つを置き換える

ペアのうち1つの補聴器しか利用できず、ペアリングを解除することなく置き換える必要がある場合、この機能を利用できます。お客様の補聴器の1つに不具合がある場合などに、この機能は役立つ場合があります。

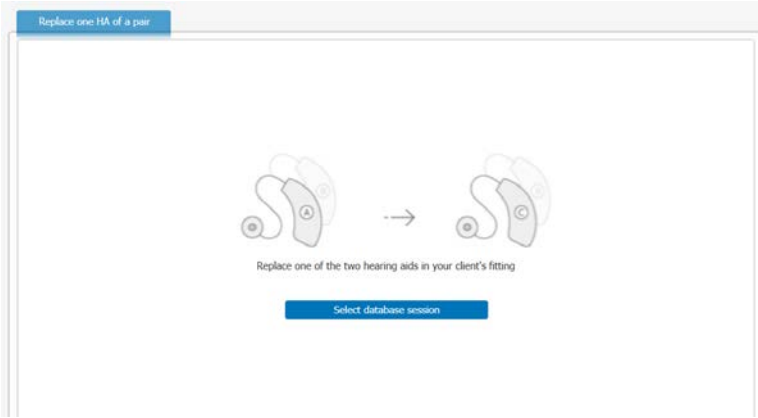
注：同一の補聴器で置き換える必要があります。前に使っていた補聴器と同じシリーズ、モデル、クラスのものである必要があることを、意味します。

リンク機能をすべて維持した状態でペアリングされている補聴器を置き換えるには：

1. 「セッションスタート」ウィンドウより「*データ移行設定*」を選択します。「*補聴器のペアのうち1つを置き換える*」タブ内にウィンドウが開きます。

2. 「*データベースセッションの選択*」をクリックすると、データベースからインポートできる有効なセッションが一覧表示されます。

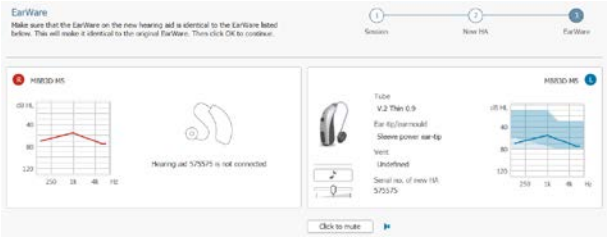
3. すべての有効なセッションが、新



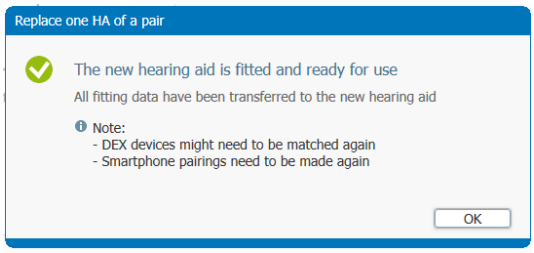
しいものから順に表示されます。セッションは両耳でなければ有効になりません。使用するセッションを選択し、接続する新しい補聴器を準備し、「*新しい補聴器へ接続*」を選択します。

4. C-tuneが、選択したセッションに適合する検出された補聴器を表示します。検出された補聴器のリストの中から置き換える側を選ぶことで、新しい補聴器を選択できます。「次へ」を選択します...

5. C-tuneが、新しい補聴器を表示します。その際、保存済みのセッションから読み込まれたイヤウェア情報も表示されます。実際のイヤウェアが、前に使っていた補聴器と同じであることを確認してください。「*OK*」ボタンを選択します。



6. C-tuneが、最新のファームウェアが新しい補聴器で利用可能になっていることを確認し、データをインポートし、「*フィッティングの概要*」ウィンドウを表示します。この際、補聴器がフィッティングされ、使用できる準備が完了したことを伝えるメッセージが表示されます。「*OK*」を選択して、メッセージを閉じます。



新しい補聴器が接続され、ペアのもう一方の補聴器が現在利用可能になっていないことが画面に表示されます。

注：DEXデバイスを再度マッチングする必要があるかもしれません。前に使っていた補聴器がスマートフォンとペアリングされていた場合は、ペアリングを再度行う必要があります。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、http://widex.pro/gps-startup-guideで無償で入手できます。配送には7営業日ほどかかります。また、文書はhttp://widex.pro/gps-startup-guideからもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：1.0発行日：2022-05